

+++++

○目次

1. 第7回日本アスレティックトレーニング学会学術大会報告
 - ・ 大会長より
 - ・ 学術大会紹介
 - 1) 特別セミナー「現場での”なぜ”をプチ研究にしてみよう」
 - 2) 招待講演「スポーツが作る地域と未来—これからのスポーツ行政—」
 - 3) レセプションより
2. 学会よりおしらせ

+++++

1. 第7回日本アスレティックトレーニング学会学術大会が行われました。

2018年7月7日（土）・8日（日）の2日間、桐蔭横浜大学（横浜市青葉区）において、第7回日本アスレティックトレーニング学会学術大会が行われました。まず開催にあたり、西日本豪雨の影響で本学術大会に参加できなかった方々が複数名いらっしゃいました。今回の大惨事に見舞われた皆様、心よりお見舞い申し上げます。そして皆様の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本学術大会ですが、公開講座への一般参加者39名を含め、総計457名のご参加をいただきました。また、一般演題数36演題（うち口述18題、ポスター10題、セミナー発表8題）、合わせて36の企業・法人の協賛とスポーツ庁をはじめ7つの関係諸機関より後援をいただき、盛会のうちに終えることができましたことをご報告させていただきます。

ご参加いただいた皆様、ご講演いただきました先生方、遅くまで準備にあたってくださった事務局の方々、そしてご支援ご協力いただきました関係各位に心より御礼申し上げます。

- ・ 第7回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 大会長 杉山ちなみ
基調講演：アスレティックトレーニング学のアートを探る

アスレティックトレーニング学とは、アスレティックトレーナーが関わる全ての領域の科学研究：スポーツ選手の傷害予防やパフォーマンスアップのために必要なすべての学問である」ことを前提に、アスレティックトレーニング学は自然科学的研究手法における量的表現範囲内では説明できない部分も多くあることを杉山ちなみ大会長はアートとして表現され、そのアートの部分の探求をテーマとした学会であることの宣言から始まりました。

アート（art）には芸術、技術、人文科学などいろいろな意味がある。アスレティックトレーニング学として、①想像力から生まれる創造力、②手技から生まれる経験則、③ことばや指導力から生まれるコミュニケーション能力が挙げられる。現場に落ちている疑問を拾い上げ、その疑問の答えとなる仮説を立てるために想像力が必要となる。そこに手技などによる経験則や研究が加わることで創造力が生まれ、プチ研究が成り立つ。スポーツ現場で見られる事象は、エビデンスで得られるような平均値ではなく、外れ値に入るようなトップアスリートを多く見るため、それぞれのケーススタディが数値を持たないエビデンスとして重要になる。さらには、選手からのSOSや会話から得

られる隠れた真実を聞き取る能力、そして選手に合った適切な指導をする能力も、コミュニケーションというアートであり、数値にならない Evidence-based Athletic Training(EBAT)である。

最後に、この学術大会を通じて、できるだけ多くのアートを探してほしいと大会長の基調講演を締めくくっていただきました。

・学術大会紹介

1) 特別セミナー「現場での”なぜ?”をプチ研究にしてみよう」

今回の学会の目玉企画として行われたこの特別セミナーは、現在学生トレーナーとして活動している学生たちにも、日常のトレーナー実習や勉強の中から研究のタネを見つけ研究の形にまとめ発表してほしいという、大会長の願いから生まれた企画でした。2日間で2セッション、計8題の発表があり実際に発表した学生から以下の感想をいただきました。

「学生プレゼンテーションは、私にとって初めての学外での研究発表でした。緊張して臨んだのですが、発表中は皆様に暖かく見守って頂き、練習通りに発表できたと思います。また、他大学の同年代の方々の発表を聴くことも非常に勉強になりました。このような機会を設けて頂いたAT学会に感謝申し上げます。」（法政大学 犬走 渚さん）

2) 招待講演「スポーツが作る地域と未来—これからのスポーツ行政—」

スポーツ庁 政策課長の鈴木敏之先生に、スポーツ行政の基本、スポーツ実施率の向上について、運動部活動の見直し、スポーツインテグリティの確保等についてご講演いただきました。

スポーツ庁長官からのメッセージとして紹介されていた言葉とともに、スポーツに関わるものとして思いを強くしたのがスポーツインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）の確保とさらなる向上についてのメッセージでした。

また最後には、2019ラグビーワールドカップ、そして2020東京オリンピック・パラリンピック大会のボランティア募集が始まっていることの告知がありました。日本で行われるスポーツにおけるビックイベント。日本人として「おもてなし」の精神をもって皆で力を合わせて一緒に大会を盛り上げていきたいと思いますというメッセージが印象的でした。

3) レセプションより

学術大会初日の7日、18:00よりレセプションが行われ、本学術大会長の挨拶、そして次回第8回学術大会挨拶の後、乾杯とともに会が開かれました。

レセプションではプロの歌手によるミュージカルソングの披露がありました。参加した皆様もプロの素晴らしい歌声に聞きほれていました。

2. 学会よりお知らせ

日本アスレティックトレーニング学会の最新の情報は随時ホームページにアップしております。詳しくはホームページでご確認ください。

日本アスレティックトレーニング学会 HP :
<http://www.js-at.jp/>

またフェイスブックでも最新の情報をアップしております。学術大会の詳しい情報はこちらまで。

日本アスレティックトレーニング学会 Facebook :
<https://www.facebook.com/%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%A2%E3%82%B9%E3%83%AC%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%88%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%8B%E3%83%B3%E3%82%B0%E5%AD%A6%E4%BC%9A-467953416595192/>